

柏の景気情報（平成18年8月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成18年8月分）

○ 調査期間 : 平成18年8月19日 ~ 8月24日

○ 調査対象 : 柏市内99事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	99	75	75.8%
建設	17	15	88.2%
製造	23	18	78.3%
卸・小売	40	28	70.0%
サービス	19	14	73.7%

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【18年8月の調査結果のポイント】

◀ 業況DIは全産業で2ヶ月連続でマイナス幅が縮小 ▶

○8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲10.6(前月水準▲16.4)となり、マイナス幅が△5.8ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、製造業△16.6(同△22.2)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲10.7(同▲21.4)、建設業▲33.3(同▲42.8)、サービス業▲21.4(同▲30.7)である。

【建設業】では、「仕事量が少ない。原油高による材料値上げでさらに厳しくなりそう」(建築工事)、「鋼板関係の値上げで厳しい状況」(板金・金物工事)との仕入上昇の声や、「仕事量は増加だが、競争が多く受注すると採算が合わなく利益を圧迫」(建築工事)、「仕事は忙しくなってきたが、利益も良くなって欲しい」(その他の職別工事業)との厳しい声が寄せられた。「天候に左右される時期なので仕事の波が大きい」(板金・金物工事)との天候の影響に関する声や、「特命工事にむけての戦略大事」(建築工事)、「業界は地域貢献・イメージUPに力を入れて行くべき」(土木工事)との声が寄せられた。

【製造業】では、「売上増加だが原材料価格上昇のため利益につながらない」(工業用ゴム製品製造)との仕入上昇の声や、「大型需要が一段落で若干業況悪化(今までが良すぎたので普通に戻る)」(機械・同部分品製造)や、「業界は底を脱した感はあるが、まだ不透明(原料等)な部分があり気を抜けない」(その他の鉄鋼)との声が寄せられた。一方で、「ユニットハウスのレンタルは絶好調」(建築用金属製品製造)との明るい声も寄せられた。

【卸・小売業】では、「曇天で野菜・果物とも作柄が悪く入荷減。主要品目でも単価高値」(食料卸売)、「天候不順(暑さと雨)で衣料の客足鈍い。温暖化の影響か夏→冬の季節感があるが、秋物の感が無い」(各種商品小売)、「夏物バーゲンにも勢いがなく、秋物商品の出足も良くない」(各種商品小売)、「入店客数・売上共に低調、台風に見舞われたため売上高は一時大きく落ち込んだ。以降、多少回復したが前年を下回る」(各種商品小売)との天候の影響により不調との声や、「原油高値も青果物の管理に厳しい状況。今後も消費動向に注意をはらって安定入荷と販売の努力を図っていく」(食料卸売)、「原油高騰」(燃料小売)の一方、「原油価格が軟化の様子ではあるが、9月も仕入単価は少し上昇予定」(ガソリンスタンド)との原油高騰の声が寄せられた。「衣住が悪く食品は堅調に推移。衣住の不振は競合の影響及び、再開発工事開始による駐車場減による影響が大きい」(各種商品小売)、「近くのスーパーが閉店。それ以降客数・売上ともに伸びているが、今後別のスーパーが開店する予定で、また厳しい状況になる」(各種商品小売)、「リニューアル休業店舗が3店舗あり売上高は厳しい状況だが、接客レベルを上げて売上に繋げていく」(各種商品小売)、「文具事務・運動会・文化祭関係が動き始めるが昨年並み」(飲食料品小売)、「ガス器具パ roma 問題の発覚から一ヶ月だが業界全体に極めて辛い日々が続いている。該当器具の交換に皆汗をかいている」(燃料小売)との厳しい声が寄せられた。また、「優秀な学生アルバイトが採用できにくくなっている。景気好転・SCオープン等に伴う奪い合い、少子化問題の顕現化、学生のレベル低下(ゆとり教育等の問題点の顕現化)」(書籍・文房具小売)との人手不足の声も寄せられた。「柏の葉郊外飲食店の閉店と代替わりと新規出店あり」(飲食料品小売)との柏の葉地域の飲食店動向が寄せられた。

【サービス業】では、「天候不順でお客の出足がにぶい。秋の客足に期待」(食堂・レストラン)との厳しい声が寄せられた。その反面、「一部景気回復は確かだが、賃料値上げにはふみきれない」(不動産管理)、「今年はディナータイムが特に忙しく、家族連れの方も多く見られます。お盆も去年より忙しかった」(食堂・レストラン)、「展示会・大規模宴会好調。スポーツ団体宿泊(Jリーグ関連)好調」(ホテル)との明るい声も寄せられた。

◎仕入上昇

「原油高による材料値上げがさらに厳しくなりそう」、「鋼板関係の値上げで厳しい状況」、「売上増加だが原材料価格上昇のため利益につながらない」、「原油価格が軟化の様子ではあるが、9月も仕入単価は少し上昇予定」との声が寄せられた。

◎天候の影響

「天候に左右される時期なので仕事の波が大きい」、「曇天で野菜・果物とも作柄が悪く入荷減。主要品目でも単価高値」、「天候不順(暑さと雨)で衣料の客足鈍い。温暖化の影響か夏→冬の季節感があるが、秋物の感が無い」、「入店客数・売上共に低調、台風に見舞われたため売上高は一時大きく落ち込んだ」、「天候不順でお客の出足がにぶい。秋の客足に期待」との声が寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
3月	▲3.8	±0.0	△11.1	▲9.6	▲14.2
4月	▲2.6	△7.6	△23.5	▲9.3	▲28.5
5月	▲15.2	▲21.4	△5.8	▲26.6	▲9.0
6月	▲17.1	▲42.8	△33.3	▲33.3	▲21.4
7月	▲16.4	▲42.8	△22.2	▲21.4	▲30.7
8月	▲10.6	▲33.3	△16.6	▲10.7	▲21.4
見通し	▲17.3	▲26.6	±0.0	▲17.8	▲28.5

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 4.0	▲ 8.0	▲ 18.6	▲ 17.3	▲ 45.3	▲ 34.6	△ 20.0	△ 17.3
建設	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 46.6	▲ 60.0	▲ 66.6	▲ 46.6	△ 6.6	△ 6.6
製造	△ 33.3	△ 22.2	△ 16.6	△ 22.2	▲ 44.4	▲ 22.2	△ 27.7	△ 11.1
卸・小売	▲ 3.5	▲ 7.1	▲ 17.8	▲ 21.4	▲ 42.8	▲ 39.2	△ 10.7	△ 14.2
サービス	▲ 35.7	▲ 21.4	▲ 35.7	▲ 14.2	▲ 28.5	▲ 28.5	△ 42.8	△ 42.8

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 10.6	▲ 17.3	▲ 9.3	▲ 6.6
建設	▲ 33.3	▲ 26.6	▲ 20.0	▲ 6.6
製造	△ 16.6	±0.0	△ 11.1	△ 5.5
卸・小売	▲ 10.7	▲ 17.8	▲ 14.2	▲ 17.8
サービス	▲ 21.4	▲ 28.5	▲ 14.2	±0.0

【平成18年8月の業況についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲10.6(前月水準▲16.4)となり、マイナス幅が△5.8ポイント縮小した。

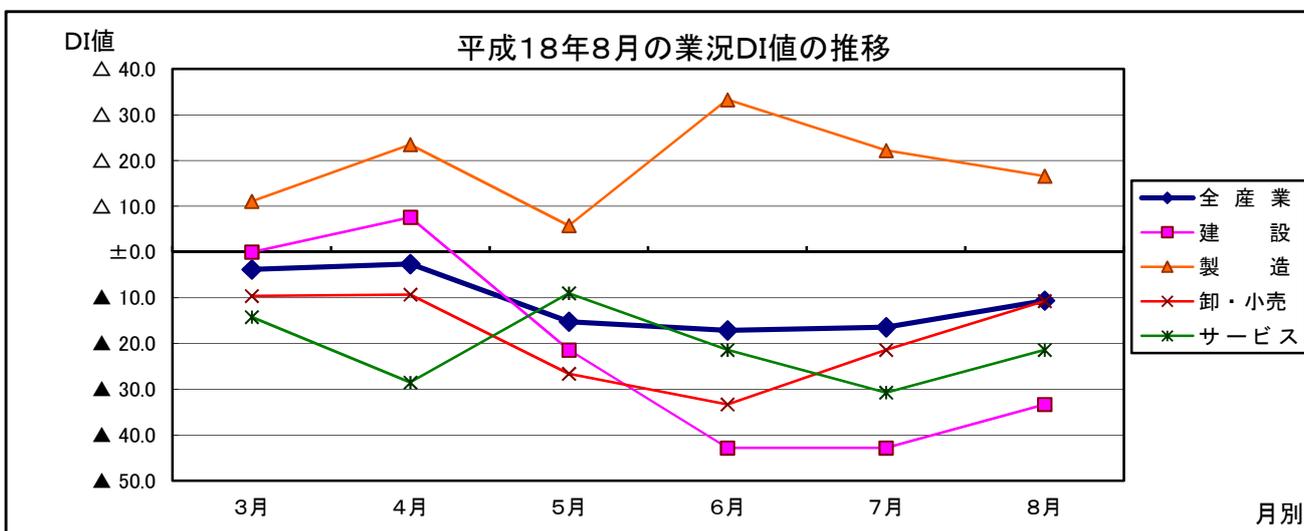
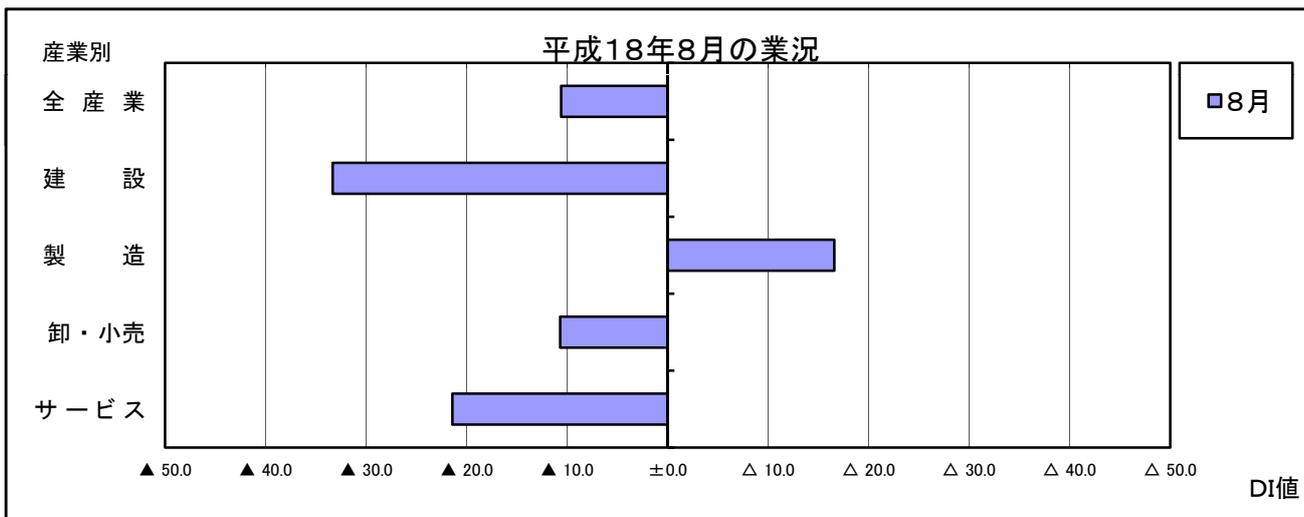
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、製造業△16.6(同△22.2)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲10.7(同▲21.4)、建設業▲33.3(同▲42.8)、サービス業▲21.4(同▲30.7)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲17.3(前月水準▲8.2)となり、マイナス幅が▲9.1ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業±0.0(同△16.6)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲26.6(同▲35.7)、サービス業▲28.5(同▲30.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲17.8(同±0.0)である。

平成18年8月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲3.8	▲2.6	▲15.2	▲17.1	▲16.4	▲10.6	▲17.3(▲8.2)
建設	±0.0	△7.6	▲21.4	▲42.8	▲42.8	▲33.3	▲26.6(▲35.7)
製造	△11.1	△23.5	△5.8	△33.3	△22.2	△16.6	±0.0(△16.6)
卸・小売	▲9.6	▲9.3	▲26.6	▲33.3	▲21.4	▲10.7	▲17.8(±0.0)
サービス	▲14.2	▲28.5	▲9.0	▲21.4	▲30.7	▲21.4	▲28.5(▲30.7)



【平成18年8月の売上についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲4.0(前月水準▲4.1)となり、マイナス幅が△0.1ポイント縮小した。

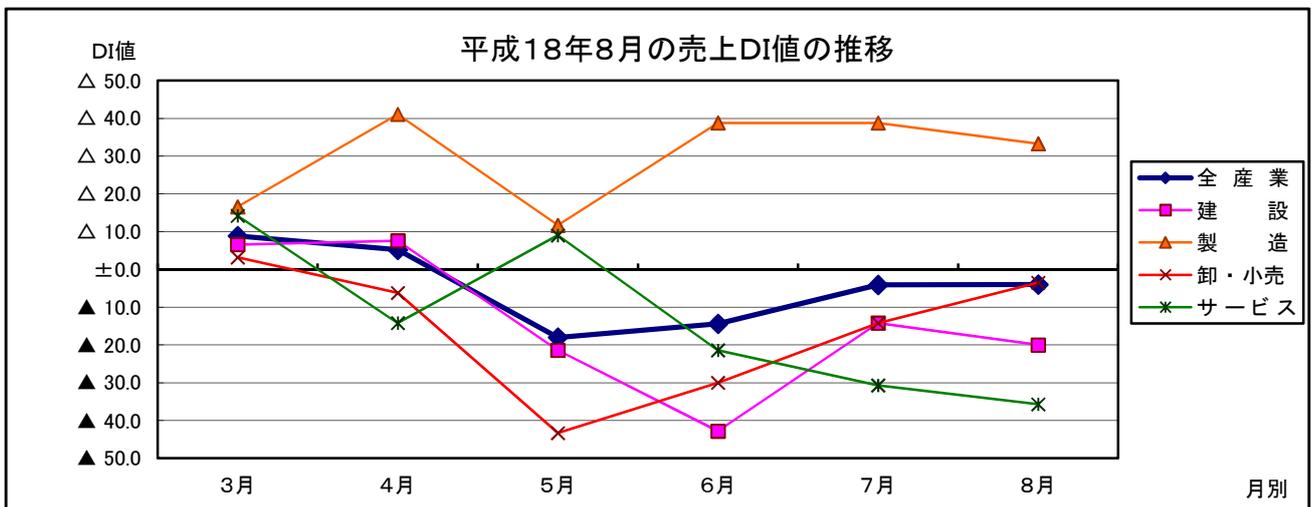
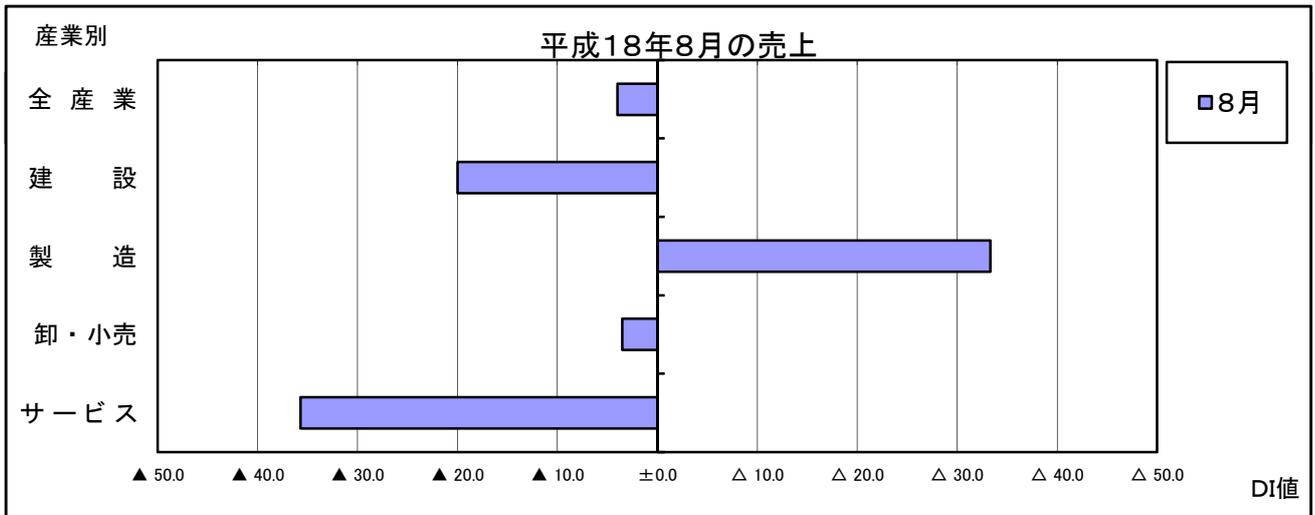
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、製造業△33.3(同△38.8)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲3.5(同▲14.2)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲20.0(同▲14.2)、サービス業▲35.7(同▲30.7)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲8.0(前月水準▲1.3)となり、マイナス幅が▲6.7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△22.2(同△27.7)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、卸小売業▲7.1(同△7.1)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲33.3(同▲35.7)、サービス業▲21.4(同▲23.0)である。

平成18年8月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	△ 8.9	△ 5.2	▲ 18.0	▲ 14.4	▲ 4.1	▲ 4.0	▲ 8.0 (▲ 1.3)
建設	△ 6.6	△ 7.6	▲ 21.4	▲ 42.8	▲ 14.2	▲ 20.0	▲ 33.3 (▲ 35.7)
製造	△ 16.6	△ 41.1	△ 11.7	△ 38.8	△ 38.8	△ 33.3	△ 22.2 (△ 27.7)
卸・小売	△ 3.2	▲ 6.2	▲ 43.3	▲ 30.0	▲ 14.2	▲ 3.5	▲ 7.1 (△ 7.1)
サービス	△ 14.2	▲ 14.2	△ 9.0	▲ 21.4	▲ 30.7	▲ 35.7	▲ 21.4 (▲ 23.0)



【平成18年8月の採算についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.6(前月水準▲23.2)となり、マイナス幅が△4.6ポイント縮小した。

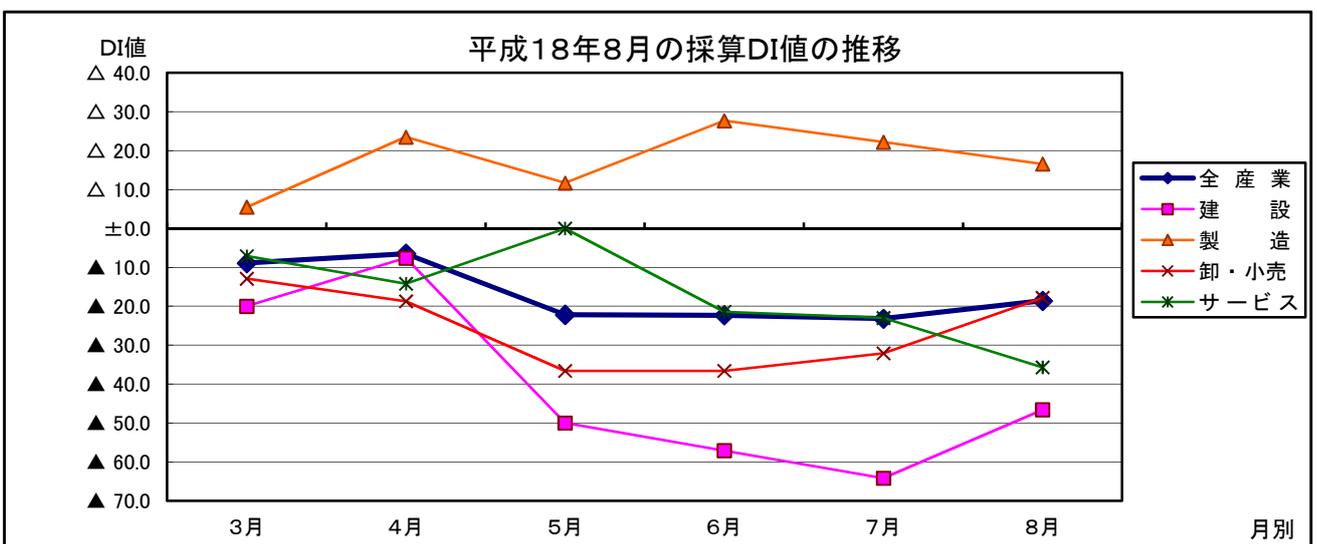
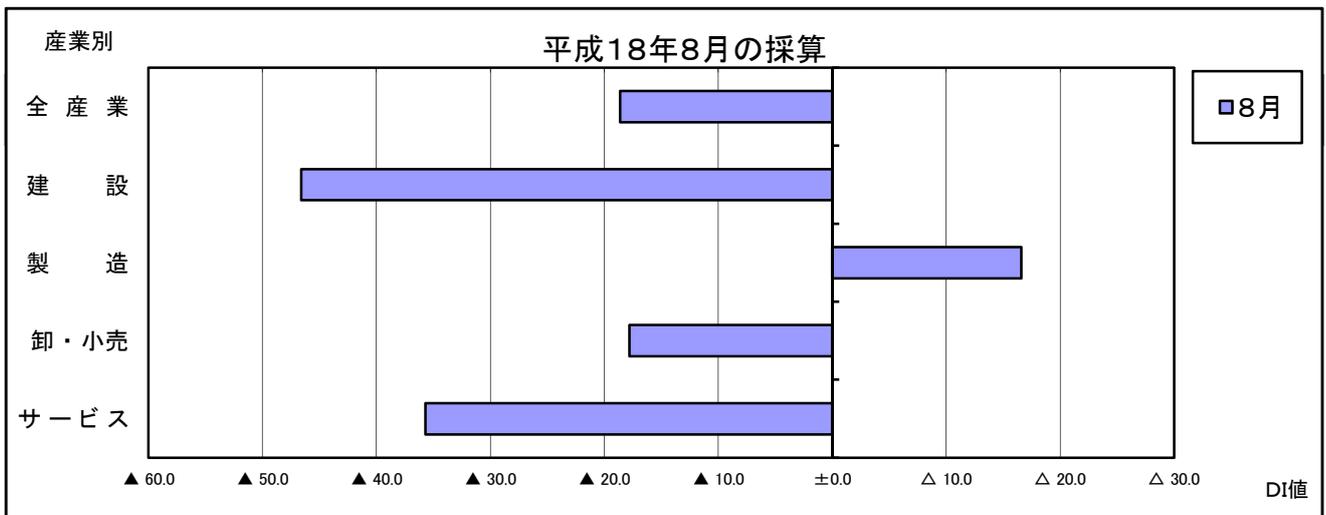
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、製造業△16.6(同△22.2)である。マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲46.6(同▲64.2)、卸小売業▲17.8(同▲32.1)である。マイナス幅が拡大した業種は、サービス業▲35.7(同▲23.0)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲17.3(前月水準▲17.8)となり、マイナス幅が△0.5ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△22.2(同△5.5)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業▲14.2(同▲38.4)、建設業▲60.0(同▲64.2)である。特に、サービス業はマイナス幅が△24.2ポイントと大幅に縮小する見通しである。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、卸小売業▲21.4(同±0.0)で、▲21.4ポイントと大幅に悪化する見通しである。

平成18年8月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲ 8.9	▲ 6.5	▲ 22.2	▲ 22.3	▲ 23.2	▲ 18.6	▲ 17.3 (▲ 17.8)
建設	▲ 20.0	▲ 7.6	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 64.2	▲ 46.6	▲ 60.0 (▲ 64.2)
製造	△ 5.5	△ 23.5	△ 11.7	△ 27.7	△ 22.2	△ 16.6	△ 22.2 (△ 5.5)
卸・小売	▲ 12.9	▲ 18.7	▲ 36.6	▲ 36.6	▲ 32.1	▲ 17.8	▲ 21.4 (±0.0)
サービス	▲ 7.1	▲ 14.2	±0.0	▲ 21.4	▲ 23.0	▲ 35.7	▲ 14.2 (▲ 38.4)



【平成18年8月の仕入単価についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲45.3(前月水準▲36.9)となり、マイナス幅が▲8.4ポイント拡大した。

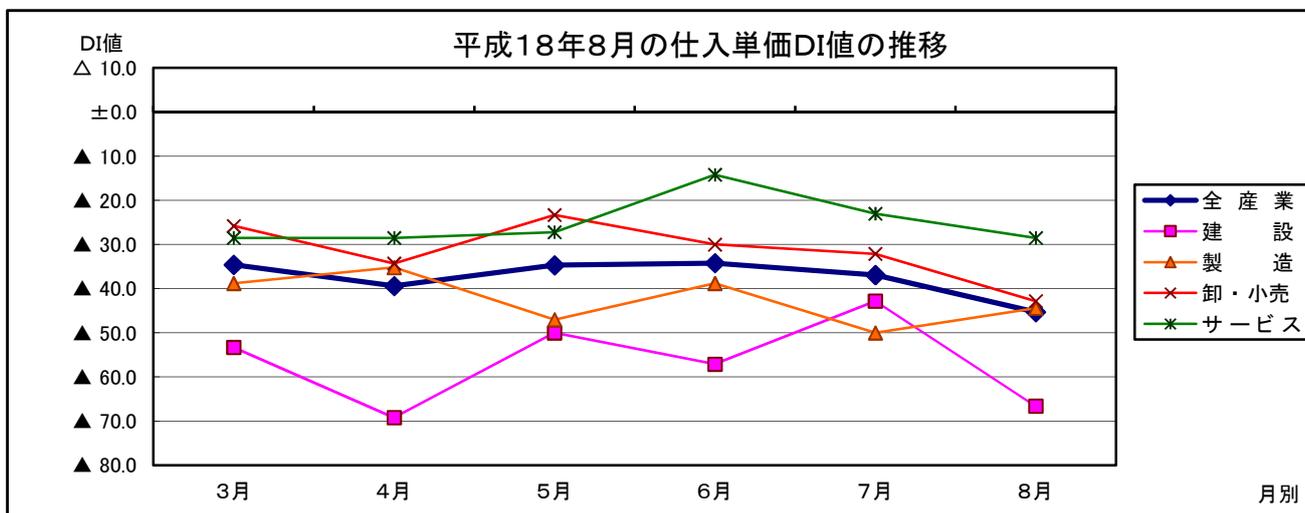
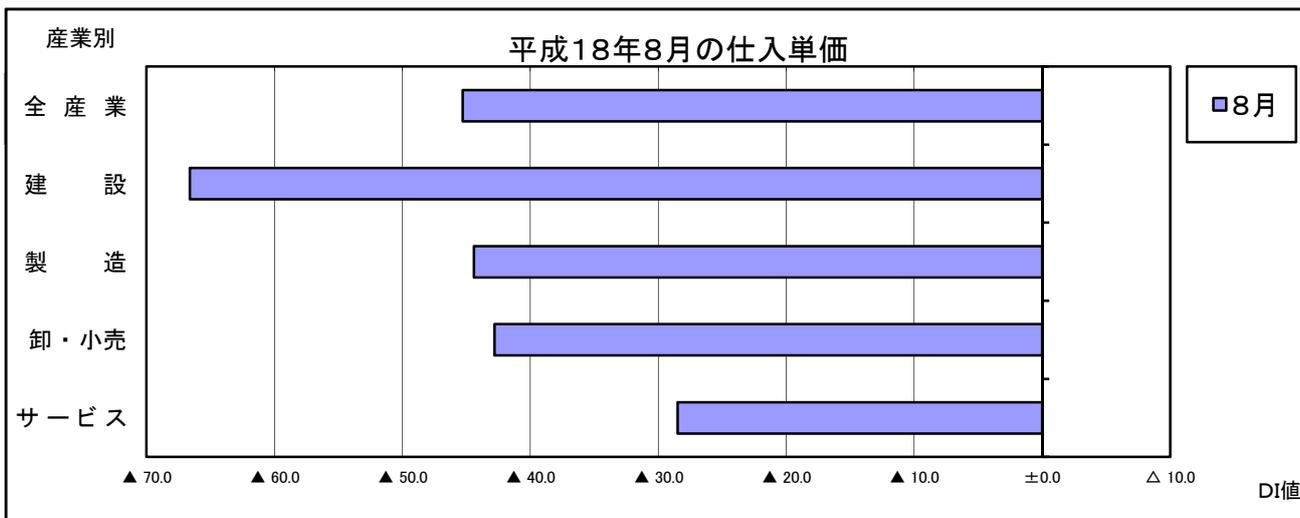
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、製造業▲44.4(同▲50.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲66.6(同▲42.8)、卸小売業▲42.8(同▲32.1)、サービス業▲28.5(同▲23.0)である。特に、建設業はマイナス幅が▲23.8ポイントと大幅に拡大した。

○ 向こう3ヶ月(9月から10月)の先行き見通しについては、全産業では、▲34.6(前月水準▲35.6)となり、マイナス幅が△1.0ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲22.2(同▲44.4)、サービス業▲28.5(同▲30.7)である。特に、製造業はマイナス幅が△22.2ポイントと大幅に縮小する見通しである。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲39.2(同▲28.5)、建設業▲46.6(同▲42.8)である。

平成18年8月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	▲ 34.6	▲ 39.4	▲ 34.7	▲ 34.2	▲ 36.9	▲ 45.3	▲ 34.6 (▲ 35.6)
建設	▲ 53.3	▲ 69.2	▲ 50.0	▲ 57.1	▲ 42.8	▲ 66.6	▲ 46.6 (▲ 42.8)
製造	▲ 38.8	▲ 35.2	▲ 47.0	▲ 38.8	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ 22.2 (▲ 44.4)
卸・小売	▲ 25.8	▲ 34.3	▲ 23.3	▲ 30.0	▲ 32.1	▲ 42.8	▲ 39.2 (▲ 28.5)
サービス	▲ 28.5	▲ 28.5	▲ 27.2	▲ 14.2	▲ 23.0	▲ 28.5	▲ 28.5 (▲ 30.7)



【平成18年8月の従業員についての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△20.0(前月水準△9.5)となり、プラス幅が△10.5ポイント拡大した。

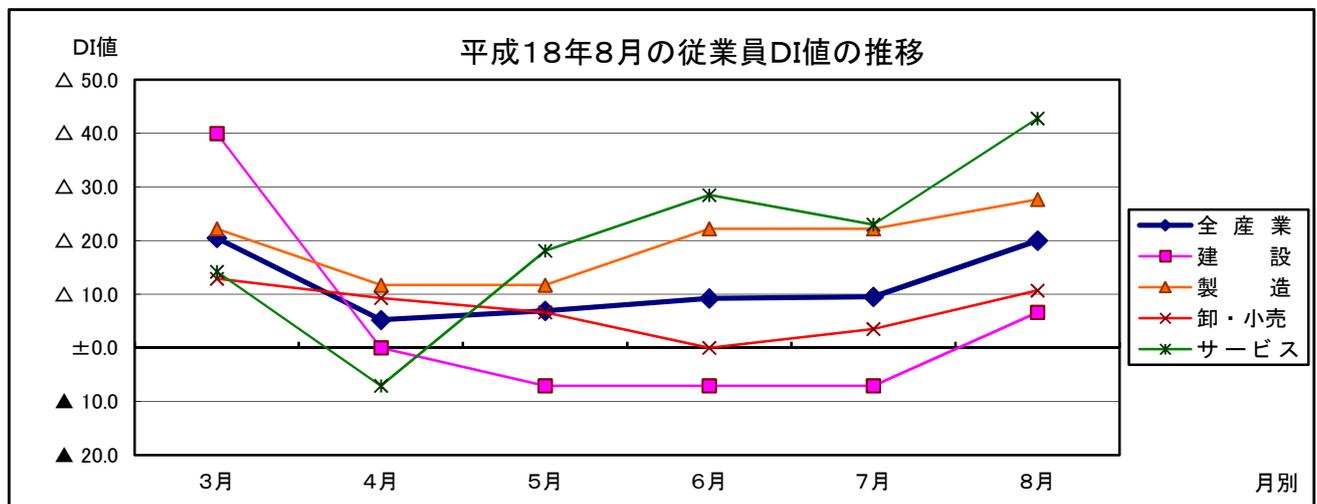
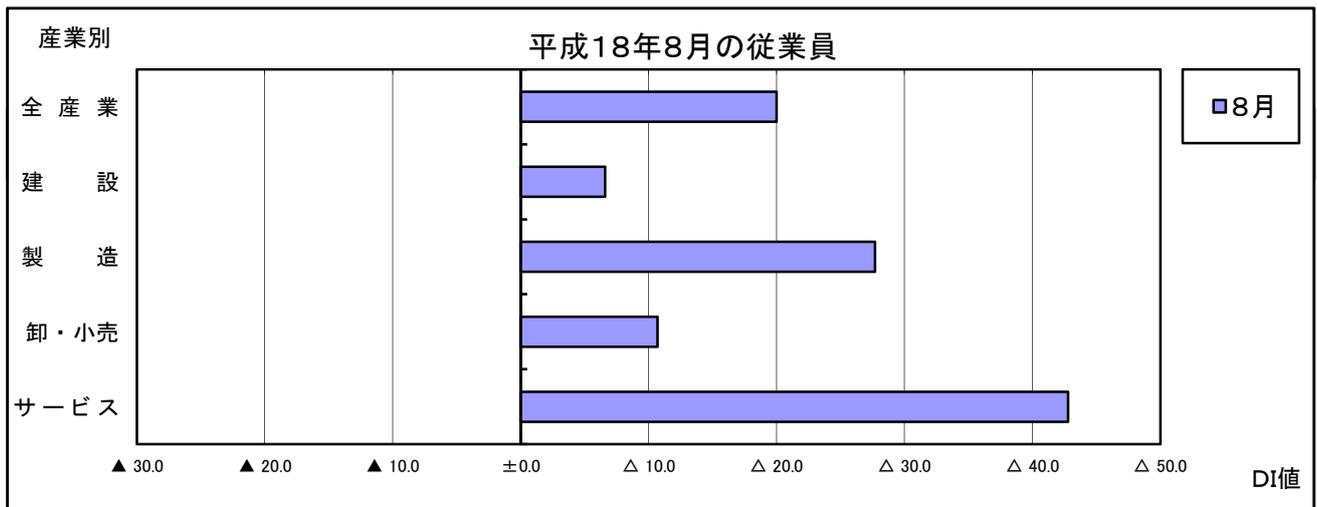
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業△42.8(同△23.0)、卸小売業△10.7(同△3.5)、製造業△27.7(同△22.2)である。マイナスからプラスに転じた業種は、建設業△6.6(同▲7.1)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、△17.3(前月水準△12.3)となり、プラス幅が△5.0ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△42.8(同△23.0)、卸小売業△14.2(同△7.1)、建設業△6.6(同±0.0)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業△11.1(同△22.2)である。

平成18年8月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月~11月(8月~10月)
全産業	△ 20.5	△ 5.2	△ 6.9	△ 9.2	△ 9.5	△ 20.0	△ 17.3 (△ 12.3)
建設	△ 40.0	±0.0	▲ 7.1	▲ 7.1	▲ 7.1	△ 6.6	△ 6.6 (±0.0)
製造	△ 22.2	△ 11.7	△ 11.7	△ 22.2	△ 22.2	△ 27.7	△ 11.1 (△ 22.2)
卸・小売	△ 12.9	△ 9.3	△ 6.6	±0.0	△ 3.5	△ 10.7	△ 14.2 (△ 7.1)
サービス	△ 14.2	▲ 7.1	△ 18.1	△ 28.5	△ 23.0	△ 42.8	△ 42.8 (△ 23.0)



【平成18年8月の資金繰りについての状況】

○ 8月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲9.3(前月水準▲8.2)となり、マイナス幅が▲1.1ポイント拡大した。

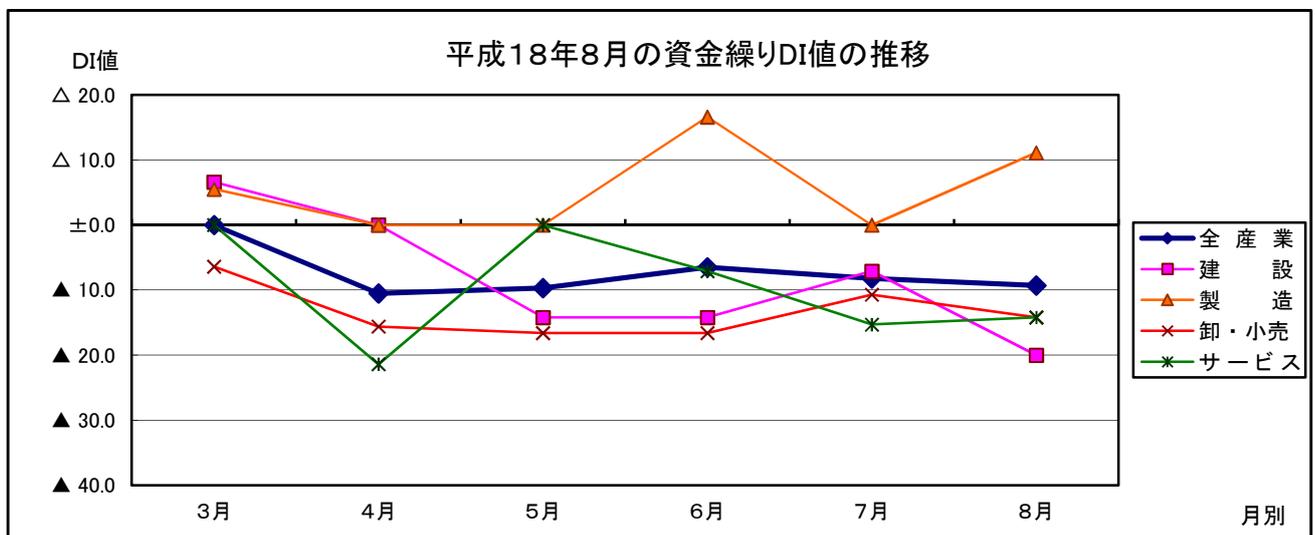
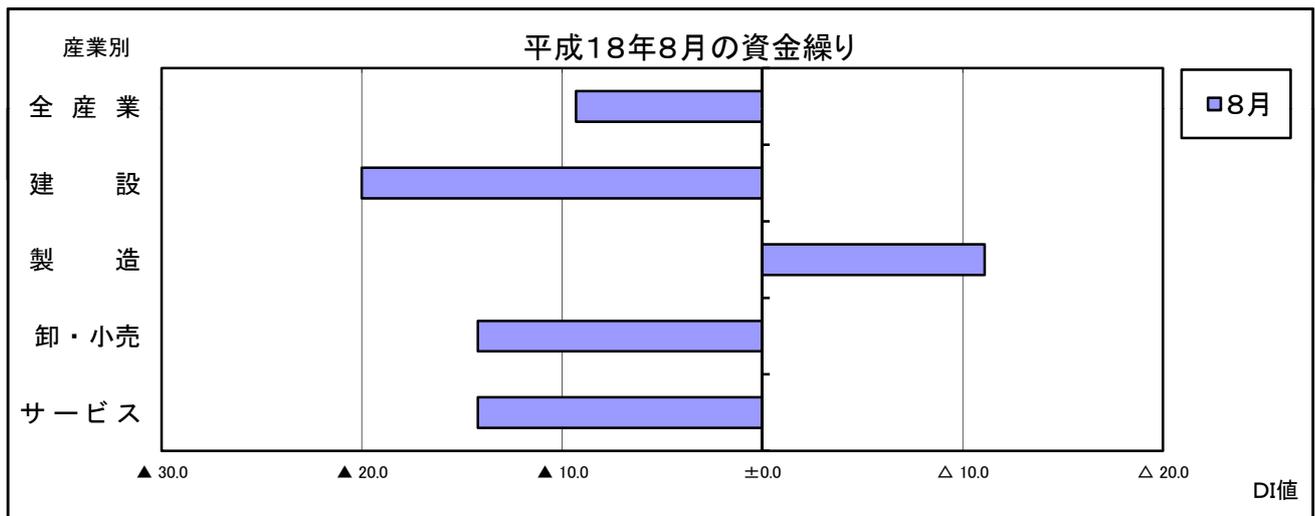
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△11.1(同±0.0)である。マイナス幅が縮小した業種は、サービス業▲14.2(同▲15.3)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲20.0(同▲7.1)、卸小売業▲14.2(同▲10.7)である。

○ 向こう3ヶ月(9月から11月)の先行き見通しについては、全産業では、▲6.6(前月水準▲5.4)となり、マイナス幅が▲1.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△5.5(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業±0.0(同▲15.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲17.8(同▲7.1)、建設業▲6.6(同±0.0)である。

平成18年8月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成18年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	先行き見通し 9月～11月(8月～10月)
全産業	±0.0	▲10.5	▲9.7	▲6.5	▲8.2	▲9.3	▲6.6(▲5.4)
建設	△6.6	±0.0	▲14.2	▲14.2	▲7.1	▲20.0	▲6.6(±0.0)
製造	△5.5	±0.0	±0.0	△16.6	±0.0	△11.1	△5.5(±0.0)
卸・小売	▲6.4	▲15.6	▲16.6	▲16.6	▲10.7	▲14.2	▲17.8(▲7.1)
サービス	±0.0	▲21.4	±0.0	▲7.1	▲15.3	▲14.2	±0.0(▲15.3)



【平成18年8月の多い景気キーワード】

◎仕入上昇

- ・ 原油高による材料値上げがさらに厳しくなりそう (建設業)
- ・ 鋼板関係の値上げもあり厳しい状況 (建設業)
- ・ 売上は増加傾向にあるが、原材料価格が上昇しているため利益につながらない (製造業)
- ・ 原油価格が軟化の様子ではあるが、9月度も仕入単価は少し上昇予定 (卸小売業)

◎天候の影響

- ・ 天候に左右される時期でもあるので仕事の波が大きい (建設業)
- ・ 野菜・果物ともに7月の曇天により、作柄あまり良くなく、その影響から今月に入り、入荷減。主要品目でも単価の高値が続いている (卸小売業)
- ・ 衣料、天候不順(暑さと雨)のためか客足鈍い。9月からの衣替え需要に期待。温暖化の影響か夏から冬の季節感があり秋物の感が無い (卸小売業)
- ・ 月初から入店客数、売上共に低調な出足となった。二週目には台風に見舞われ、売上高は一時大きく落ち込みをみせた (卸小売業)
- ・ 天候不順の為か・・・？お客の出足がにぶいようだ。秋の客足に期待したい (サービス業)

平成18年8月のCCI-LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲10.6に対し、「CCI-LOBO」が▲22.9で、マイナス幅が12.3ポイント小さい。「柏の景気」の方がすべての業種で良くなっており、10ポイント以上良い業種は、製造業。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲4.0に対し、「CCI-LOBO」が▲14.6で、マイナス幅が10.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は建設業・製造業・卸小売業。10ポイント以上良い業種は、製造業・卸小売業。「柏の景気」の方が10ポイント以上悪い業種は、サービス業。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲18.6に対し、「CCI-LOBO」が▲26.5で、マイナス幅が7.9ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・卸小売業。10ポイント以上良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・サービス業。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲45.3に対し、「CCI-LOBO」が▲31.2で、マイナス幅が6.2ポイント大きい。「柏の景気」の方が良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業・サービス業。10ポイント以上悪い業種は、建設業・卸小売業。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△20.0に対し、「CCI-LOBO」が▲0.5で、プラス幅が19.5ポイント大きい。「柏の景気」の方がすべての業種で良くなっており、10ポイント以上良い業種は、建設業・製造業・サービス業。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲9.3に対し、「CCI-LOBO」が▲16.9で、マイナス幅が7.6ポイント小さい。「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業。10ポイント以上良い業種は、製造業。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業。

【平成18年8月の業種別業界内トピックス】

産業別	概況	キーワード	業種
建設	仕事量は増加。競争が多く、受注すると採算は合わない。利益を圧迫する。特命工事にむけての戦略大事。	・受注増加 ・受注競争 ・採算悪化 ・利益圧迫	一般土木建築工事業
	仕事量が少ない。原油高による材料値上げがさらに厳しくなりそうだ。	・原油高騰 ・受注減少 ・仕入上昇	一般土木建築工事業
	業界としては地域貢献、イメージUPに今後力を入れて行くべきでしょう。	・地域貢献 ・イメージUPの強化	土木工事業（舗装、しゅんせつを除く）
	天候に左右される時期でもあるので仕事の波が大きいです。鋼板関係の値上げもあり厳しい状況です。	・天候の影響 ・仕入上昇	板金・金物工事業
	仕事の方は忙しくなってきた様です。利益の方はもう少し良くなって欲しい。	・受注増加 ・利益低迷	その他の職別工事業
製造	売上は増加傾向にあるが、原材料価格が上昇しているため利益につながらない。	・売上増加 ・仕入上昇	ゴムベルト・ゴムホース・工業用ゴム製品製造業
	業界自体は、底を脱した感はあるがまだ不透明（原料等）な部分があり気を抜けない状況。	・先行き不透明	その他の鉄鋼業
	ユニットハウスのレンタルは絶好調。	・レンタル絶好調	建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金属を含む）
	大型需要が一段落で若干業況悪化。（今までが良すぎたので、普通に戻る）	・大型需要 ・業況悪化	その他の機械・同部分品製造業
卸・小売	暑すぎて食欲も無いとか、夏バテという話もあり耳に入らなかったし平平と過ぎた感じがします。	・変化なし	食料・飲料卸売業
	衣住が悪く食品は堅調に推移している。衣住の不振は競合の影響及び、再開発工事開始による駐車場の減による影響が大と考えられる。	・衣、住売上減 ・食品売上増 ・競合店の影響 ・駐車場減少	その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）
	野菜・果物ともに7月の曇天により、作柄あまり良くなく、その影響から今月に入り、入荷減。主要品目でも単価の高値が続いています。併せて、輸入原油の高値も青果物の管理に厳しい状況であることから、今後も消費動向に注意をはらって安定入荷と販売の努力を図ってまいります。	・天候の影響 ・入荷減 ・単価高 ・原油高騰	食料・飲料卸売業
	近くのスーパーが閉店した。それ以降客数、売上ともに伸びている。しかし、撤退した後に、別のスーパーが開店する予定なので、開店後は、又、厳しい状況になるものと予想される。	・大型店閉店 ・客数増 ・売上増	その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）
	衣料、天候不順（暑さと雨）のためか客足鈍い。9月からの衣替え需要に期待。温暖化の影響が夏から冬の季節感があり秋物の感が無い（短い）。文具事務、運動会、文化祭関係が動き始めるが昨年並み。北部柏の葉郊外の飲食店の閉店と代替わりと新規出店あり。	・天候の影響 ・秋物商戦 ・学校行事需要	その他の飲食料品小売業
	原油価格が軟化の様子ではあるが、9月度も仕入単価は少し上昇予定。	・原油高騰（原油高軟化傾向） ・仕入上昇	ガソリンスタンド
	原油高騰	・原油高騰	燃料小売業（ガソリンスタンド含まず）

【平成18年8月の業種別業界内トピックス】

	<p>ガス器具パロマ問題の発覚から一ヶ月、刑事捜査と報道の追求の手はいまだに緩んでいない。業界全体に極めて辛い日々が続いている。今は該当器具の交換に皆汗をかいている。あとの祭りとせぬように。</p> <p>最近特に感じるのは、優秀な学生アルバイトが採用できにくくなっているという点。・景気好転、SCオープン等に伴う奪い合い。・少子化問題の顕現化。・学生のレベル低下(ゆとり教育等々の問題点の顕現化)</p> <p>店長入院の為、少し人手が不足です。</p> <p>夏物のバーゲンにも勢いがなく、秋物に変わった商品の出足も良くない。</p>	<p>・CO事故 ・事故事後対策</p>	<p>燃料小売業(ガソリンスタンド含まず)</p>
		<p>・人材難 ・求人難</p>	<p>書籍・文房具小売業</p>
			<p>書籍・文房具小売業</p>
		<p>・夏物商戦 ・秋物商戦</p>	<p>その他の各種商品小売業(従業者が常時50人未満のもの)</p>
	<p>8月度、月初から入店客数、売上共に低調な出足となった。</p> <p>二週目には台風に見舞われ、売上高は一時大きく落ち込みをみせた。</p> <p>10日以降売上は前年並みの推移になり、多少回復したものの、前半の落ち込みをカバーするには至らず、前年を下回る推移となっている。</p> <p>月末にかけてリニューアル休業店舗が3店舗あることから、売上高は厳しい状況が予想されるが、接客レベルを上げて売上に繋げていく。</p>	<p>・客数減少 ・売上減少 ・天候の影響 ・テナントのリニューアル休業 ・接客向上</p>	<p>各種商品小売業</p>
サービス	<p>去年は夏休みに入った途端とても暇でしたが、今年はディナータイムが特に忙しく、家族連れの方も多く見られます。</p> <p>お盆も去年より忙しかったように思えます。</p> <p>天候不順の為か・・・？お客の出足がにぶいようだ。秋の客足に期待したい。</p> <p>来客数・問い合わせ等、8月は減少する。一部景気回復は確かだが、賃料値上げにはふみきれない。</p> <p>展示会、大規模宴会好調。スポーツ団体宿泊(Jリーグ関連)好調。</p>	<p>・客数増 ・売上増 ・お盆商戦</p>	<p>食堂・レストラン</p>
		<p>・天候の影響 ・客数減少</p>	<p>食堂・レストラン</p>
		<p>・客数減少</p>	<p>不動産管理業</p>
		<p>・展示会好調 ・宴会好調 ・宿泊好調</p>	<p>ホテル</p>

平成18年8月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI > 50	好調 50 > DI > 25	まあまあ 25 > DI > 0	不振 0 > DI > -25	極めて不振 DI < -25

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 10.6	 33.3	 16.6	 10.7	 21.4
CCI LOBO	 22.9	 34.8	 12.8	 19.7	 26.7

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 4.0	 20.0	 33.3	 3.5	 35.7
CCI LOBO	 14.6	 28.9	 3.7	 14.9	 14.9

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 18.6	 46.6	 16.6	 17.8	 35.7
CCI LOBO	 26.5	 39.8	 23.6	 18.5	 31.3

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 45.3	 66.6	 44.4	 42.8	 28.5
CCI LOBO	 31.2	 42.0	 45.6	 16.0	 25.5

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 20.0	 6.6	 27.7	 10.7	 42.8
CCI LOBO	 0.5	 17.1	 3.2	 5.4	 2.0

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 9.3	 20.0	 11.1	 14.2	 14.2
CCI LOBO	 16.9	 27.6	 11.8	 13.3	 20.3

は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (8月速報)

調査期間：平成18年8月21日～25日
 調査対象：全国の407商工会議所が2590業種組合等にヒアリング調査を実施。

全国の業況

業況DIは二カ月連続改善も、仕入・輸送コスト増金利上昇等不安材料あり

八月の景況をみると、全産業合計の業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)は、前月水準(一四〇)よりマイナス幅が二・九となり、一カ月連続でマイナス幅が縮小した。

【建設業】では、「新築個人住宅の売上が回復し、アパートの着工件数も若干増加している」(一般工事)、「今月は前年同月比で売上が増加し、好調を維持していると感じている」(電気工事)との声がある一方、「人件費の増加や仕入コスト上昇により、発注案件があっても価格が折り合わずに受注できないケースが多い」(建築工事)との声も寄せられている。

【製造業】では、「販売単価が改善するとともに、受注残も増加傾向にある」(他の輸送用機器製造)、「建設機械や工作機械の生産が好調で工場はフル稼働の状態にあり、生産能力向上のための設備投資や人員増強の動きが随所に見られる」(金属加工機械製造)との声がある一方、「軽油の値上がりで運搬費が四割ほど上昇しており、経費負担が増えている」(農製造)と、原油価格高騰による影響を指摘するコメントに加え、「仕入コスト上昇分を販売価格へ転嫁するのは難しく

く借入金利の上昇で資金調達もままならない」(通信機器具製造)と、仕入コスト上昇と金融機関からの借入金利上昇の両方を懸念材料として掲げる声も寄せられている。

【卸売業】では、「米国産牛肉の輸入再開を受け、国産牛肉や他国産牛肉の価格が落ち着いて売上が回復するのではと期待している」(各種商品卸売)との声がある一方、「住宅ローン金利引き上げで住宅販売に陰りが出た場合、建築資材の売上に影響が出る可能性がある」(建築材料卸売)とのコメントのほか、「原油価格高騰の影響を受け、配送車両等の燃料費のコスト削減に苦慮している」(食料・飲料卸売)と、原油価格高騰による輸送コスト上昇の影響を訴える声も寄せられている。

【小売業】では、「月間売上が対前年同月比で百分を超え、月が多くなり、個人消費の回復を肌で感じている」(百貨店)との声がある一方、「金利上昇で借入金の利払いが増加するとともに、原油価格高騰が仕入価格に影響を及ぼしている」(その他の小売)とのコメント

に加え、「都市部で見られる景気回復感に地方では感じられず、また、一部店舗は急激な一口高による輸入価格の上昇に苦慮している」(商店街)と、為替動向による悪影響を訴える声も寄せられている。

設備投資に関連したソフトウェア開発の受注が回復している」(ソフトウェア)との声がある一方、「天候の影響でビアガーデンが思うように営業できず売上が低迷している」とも「出前もカソリン代の上昇が利益を圧迫している状況」(他の一般飲食店)、「新倉庫が完成して売上が増加したが、軽油の値上げ」(リットルあたり五百円)により運送コストが上昇したため、採算が悪化している」(その他サービス)と、原油価格高騰によるコスト上昇を訴える声も寄せられている。

八月のキーワード

回復への動き

各業種から、業況好調、売上増加、消費好調、来店者数増加先行き期待という声も寄せられている。「民間住宅建設が少しずつ好転」(大工事)、「受注価格は低迷しているが、公共工事の入札件数が増加している」とも、「民需の面でも設備投資が増えた」(一般事)とのほか、「受注状況は安定しており、受注残も二カ月から三カ月分を確保している」(一般産業用機械製造)とのコメントも寄せられている。また、「一部商品の売上が増加もしくは堅調な動きを見せており、今後必要の増加が見込まれる」(鉱物金属材料卸売)、「衣料品の売上が若干下降気味も、食品やお中元の売上は生鮮品を中心に好調を維持している」(その

他の小売と消費好調を指摘のほか、「今月は猛暑が続く、台風の影響もなかったため、昨年と比較して来店者数が多かった感がある」(喫茶店)とのコメントも寄せられている。

悪化への懸念

一方で、各業種から、引き続き公共工事や出荷の減少など業況低迷や先行き懸念、来店者数減少を訴える声も寄せられている。建設、製造、卸売からは、公共事業の減少や民間工事の低迷により、前年同月比で売上、採算ともに悪化しており、業況は一層厳しい状況となっている」(一般工事)、「出荷は昨年同月比で八・三%減少している」とも、「原材料コストの上昇により利益が圧迫されている」(産業・土石製造)、「依然として末端の需要が回復せず低迷が続いており、企業間の格差も大きい」(衣服・日用品卸売)との声も寄せられている。また、小売、サービスからは、「地元客の消費意欲は依然として低調で苦戦しているの

に加え、来年春には大型店の進出も予定されている」(商店街)、「例年、地元への来店客を中心に来店者数が多い月だが今年はいくぶん減った」(理容)との声も寄せられている。

仕入・輸送コスト上昇

また、引き続き、原油・素材価格の高騰等による仕入・輸送コストの上昇を訴える「メン

トが寄せられている。建設、製造からは、「公共事業の減少や原油高による材料・運賃の値上がりにより、業況は厳しい」(一般工事)、「銅やメッキ等材料の仕入コストが高騰しているため、製造原価が上昇している」(金属線管製造)との声も寄せられている。また、卸売、小売、サービスからも、「燃料や石膏など原材料コストの値上がりによって収益が悪化している」(家具・建具卸売)、「紙製品や砂糖を原料とする商品の仕入価格上昇が続いている」(百貨店)、「急激な灯油の値上がりのために経費が増大しているため、全体的に状況は厳しい」(洗濯)といったコメントが寄せられている。

全国・産業別業況DIの推移

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
3月	23.5	36.4	10.7	33.3	21.6	27.8
4月	22.3	40.7	11.5	25.5	18.3	26.1
5月	23.6	40.0	10.5	32.3	22.4	24.6
6月	27.5	44.1	16.1	31.5	23.4	32.5
7月	24.0	36.5	8.3	31.8	22.4	31.4
8月	22.9	34.8	12.8	30.5	19.7	26.7
見通し	21.2	34.6	12.0	23.3	18.7	24.6

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI